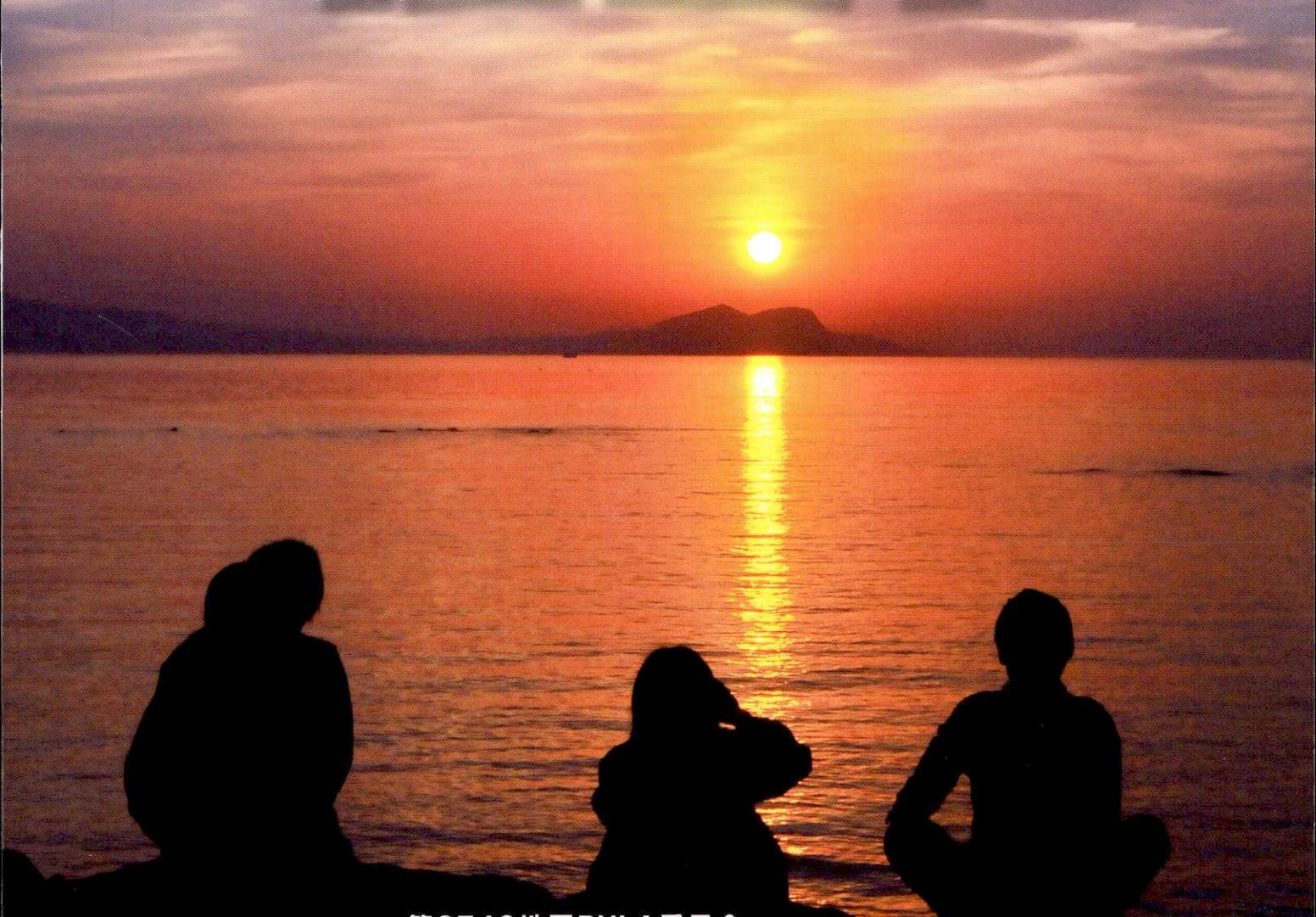
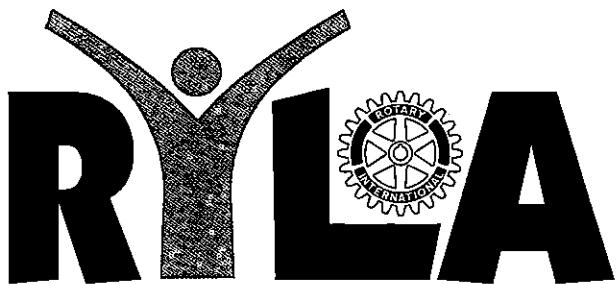


2010~2011年度国際ロータリー第2740地区
第32回 ロータリー青少年指導者養成プログラム記録誌
テーマ
「自然との関わりの中で語り合いましょう!!」

●2011年5月14日(土)・15日(日)
●福江文化会館・さんさん富江キャンプ村



第2740地区RYLA委員会
ホストクラブ 福江ロータリークラブ
コ・ホストクラブ 第9・第10グループ



Rotary Youth Leadership Awards

RYLAとは

ロータリー青少年指導者養成プログラム（RYLA）は、14歳から30歳までの青少年を対象とする集中研修プログラムです。

参加者は、RYLAプログラムを通じて初めて出会う参加者と意見の交換を行いながら諸問題について討議し、指導力と伝達力を磨きます。

RYLAプログラムは、同世代の仲間や人生の先輩たちと共に主題について探求する機会を提供します。

RYLAの主旨

青少年とロータリアンが活動を共にすることで若い人の指導力と善良な社会人としての資質を伸ばすことを目的としています。

RYLAは、ロータリーの地区の重要なプロジェクトです。

RYLA参加の青少年たちが、社会的な責任を自覚して、多くの人と知り合い、自分の世界を広げ、新しい時代を担う指導者として、各分野で活躍されることを期待致します。



登録受付・昼食



高城 パストガバナー



福江RC ご夫人

開講式



植松 SAA



張本 総務委員長



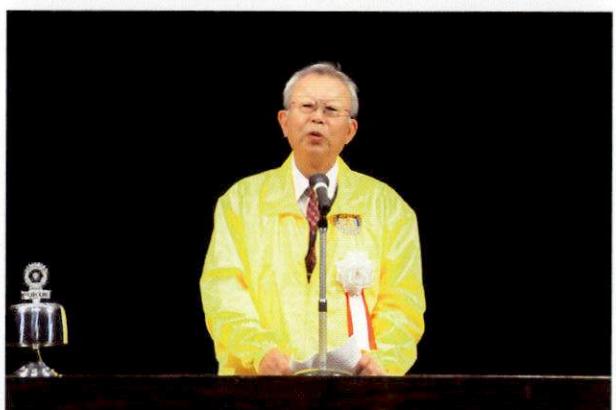
有川 福江RC会長



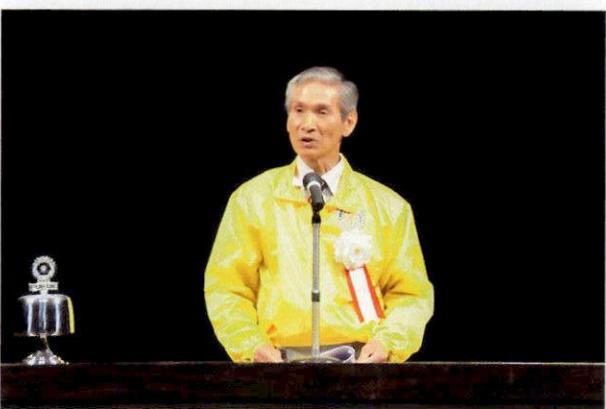
牟田 実行委員長



小川 RYLA地区委員長



高原 ガバナー



2009~2010 岡部新世代統括委員長



中尾 五島市長様

五島市内視察



田中・戸田・中村陽・中村吉・中山 コーディネーター



北島 コーディネーター





夕食



倭寇太鼓の皆様



セミナー【グループディスカッション】



Aグループ



Bグループ

Cグループ



Dグループ

Eグループ



Fグループ



朝の集い・清掃



向原会員



朝 食



閉講式

RYLA



目 次

Contents

プログラム	1~2
歓迎の言葉	3
開講の言葉	4
挨 拶	5
挨 拶	6
祝 辞	7
グループディスカッション	8~25
R Y L Aに参加して	26~30
R Y L A講評	31
閉講の言葉	32
実行委員会報告『第32回 R Y L A』開催にあたって	33
R Y L A登録者名簿	34~38
R I 第2740地区 R Y L Aの歩み	39
R Y L A実行委員会組織図	40

ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2740
国際ロータリー第2740地区

第32回 RYLA プログラム

1日目

2011年5月14日（土）

会場：福江文化会館大ホール・さんさん富江キャンプ村

11:30～ 代表者会議

12:00～ 登録受付・昼食

13:00～13:50 開講式 SAA 植 松 郁 雄

黙 祷

ホストクラブ会長 …… 有 川 一 男

開会点鐘

実行委員長 …… 牟 田 宣 昭

開会の辞

「君が代」

国歌斉唱

「奉仕の理想」

ロータリーソング斉唱

ホストクラブ会長 …… 有 川 一 男

歓迎の言葉

ホストクラブ会長 …… 有 川 一 男

来賓並びに役員紹介

RYLA地区委員長 …… 小 川 信

開講の言葉

地区ガバナー …… 高 原 武 彦

ガバナー挨拶

北 郷 雅 子 (代理 岡部 景光)

新世代統括委員長挨拶

五島市長 …… 中 尾 郁 子 様

来賓挨拶

実行委員長 …… 牟 田 宣 昭

閉会の辞

ホストクラブ会長 …… 有 川 一 男

閉会点鐘

14:00～16:50 五島市内視察

福江文化会館 → 魚津ヶ崎公園（経由）→ 水の浦教会（経由）→
高浜海水浴場（休憩）→ 中須（経由）→ 大瀬崎灯台（休憩）→
大宝（経由）→ 長峰（経由）→ さんさん富江キャンプ村

17:00～18:50 夕 食（倭寇太鼓）

19:00～21:00 セミナー（グループディスカッション） 司会進行 中 山 勝 義

メインテーマ『自然との関わりの中で語り合いましょう!!』

サブテーマ 「五島の魅力について」「自然との共生について」

「生物多様性について」

基調講演 五島市観光交流課課長 古 川 八寿男様

グループディスカッション（A・B・C・D・E・Fグループ）

21:10～ 自由時間（入浴時間）

22:30～ 就 寢

2日目 2011年5月15日（日）

会場：さんさん富江キャンプ村

6:45～ 起床

7:15～7:30 朝の集い

7:30～8:00 清掃

8:00～8:50 朝食

9:00～10:00 閉講式

開会点鐘

SAA 植松郁雄

開会の辞

ホストクラブ会長 有川一男

開会挨拶

実行委員長 牟田宣昭

受講者代表発表

ホストクラブ会長 有川一男

講評

A・B・C・D・E・Fグループ

セミナー修了証書授与式

第9グループガバナー補佐 渡邊修志

ガバナー挨拶

ホストクラブ会長 有川一男

ロータリーソング齊唱

地区ガバナー 高原武彦

閉講の言葉

「手に手つないで」

閉会の辞

次年度RYLA地区委員長 中島洋三

閉会点鐘

実行副委員長 谷川和啓

ホストクラブ会長 有川一男

10:20～10:30 昼食配布・解散



歓迎の言葉

ホストクラブ会長 有川一男

皆さん、こんにちは。ようこそ五島へおいで下さいました。

新緑が眩しく、風薫る五月晴れのなか、高原ガバナーほか地区役員の方々、地元来賓の方々、第2740地区のロータリアンの皆さん、そして、有能な多数の青少年の方々を招き、ここにRYLAを開催することが出来ましたこと、たいへん嬉しく思います。

今回、大会の登録期限が3・11「東日本大震災」直後の3月18日でありました。全国的混乱状況の最中、先行きが見えない中にも関わらず、期限までに応募して戴いた皆様の志に対し、先ずはお礼を申し上げたいと思います。

1980年(昭55)5月、佐世保RCにおいて第1回大会が開催されて以来、32回目を迎えた第2740地区のRYLAは、初めて海を渡り、四方を海で囲まれた、ここ五島列島福江島で開催されることになりました。

本大会の開催決定に当たり、当初より前年度の高城ガバナーはじめ地区役員の方々には、物心両面にわたる多大なご支援と懇切なご指導を戴きましたこと、この場をお借りして、感謝と御札を申し上げたいと思います。有難うございました。

「RYLA」は、年齢14歳から30歳の若者を対象に、次世代のリーダーを育てるここと、これを究極の目的としております。スキル(熟練)と人格を養いながら、奉仕の理想、高い道徳的基準、平和な世界実現といったロータリーのもつ価値観を学んで戴く機会を提供する。それが「青少年指導セミナー」「RYLA」であると思っております。

今回指名を受けた我が福江ロータリークラブにとって、RYLAは担当するのも、参加するのも初めての経験になりました。

ホストクラブとして、これまで実行委員会、部会を重ねに重ね試行錯誤、その中から五島らしい、五島ならではの「RYLA」にしようとの思いに至り、今回のメインテーマとなりました。

「自然との関わりの中で語り合いましょう！」

さらに具体的にサブテーマとして、

①「五島の魅力について」、②「自然との共生について」、③「生物多様性について」

この3つのテーマに絞りました。それぞれ「自然と人間との関わり」について、理解と考察を深めて戴きたいと思います。

青少年の皆さんには、このあとバスによる3時間の福江島「島内視察」。そしてメイン会場・さんさん富江キャンプ村での「グループディスカッション」。セミナーの最重要プログラムであります。テーマに基づき、若者の視点で、和やかに楽しく、活発な意見交換をして戴きたいと思います。

ここに選ばれた青少年の皆さん、五島と自然について多く学び知って戴きたい。参加した多くの人々と接し、すでに地域社会で活動するリーダーたちと、語り合って戴きたい。さらにロータリーの活動を少しでも理解して戴くことによって、それぞれ自分自身のなかに自信と可能性を育んで戴きたい。

そのように思い、願っている次第であります。

今日と明日、僅か2日間ではありますが、参加された青少年の皆さん、ロータリアンの皆さんにとって、有意義なRYLA体験となることを願って、「歓迎の挨拶」と致します。



開講の言葉

RYLA地区委員長 小川 信

本日は、第32回RYLAに御出席頂きました高原ガバナー始め、2740地区のロータリアンの皆様、それから青少年の皆様、歴史と伝統のある福江に御出席頂き有難う御座いました。本セミナーをホスト頂きました、福江RC有川会長様、実行委員長の牟田様、会員の皆様、それからコ・ホスト頂きました第9グループ・第10グループのRC会長さん、会員の皆様に感謝申し上げます。

本日のセミナー、RYLA (Rotary Youth Leadership Awards) 青少年指導者養成プログラムです。

青少年の皆様が、善良な市民として資質を伸ばし、地域社会でリーダーシップを發揮して指導者として成長されるよう、地域の青少年の皆様にロータリーが話し合いの場を提供し、ロータリアン・青少年の皆様が活動を共にし、自分の世界を広げ各分野で活躍して頂く為のセミナーです。

2740地区におきましては、第1回RYLAが1979年長崎親和の森で実施され、今年迄途絶えることなく32回を迎えています。

過去RYLAで研修頂きました青少年の方が、現在ロータリアンとして活躍頂いている方も御座います。青少年の皆様にも、将来ロータリアンとして活躍して頂きますことを望みます。

今回のテーマ「自然との関わりの中で語り合いましょう」ということで、現在私達が見直さなければならない、的を射たテーマだと思います。現代社会は、激変を繰り返し天災及び、自然破壊による人災等が多く発生しています。

これから世代を担う青少年の皆様とロータリアンの皆様が、地球環境・地域発展等これからの社会について語り合い、お互いの価値観の違いを良く話し合い、充分に理解し合って、地域・企業・学校に帰られそれぞれの場で活躍して頂き、社会の繁栄・平和に貢献されることを希望致します。

このセミナーを楽しみ、実りあるセミナーとして頂きますよう御願い致します。

最後になりますが、本日御出席頂きましたロータリアンの皆様、青少年の皆様の御健勝・御多幸を祈念致しまして、挨拶とさせて頂きます。

有難う御座いました。



挨 拶

ガバナー 高 原 武 彦

風薰る五月、とてもいい天気に恵まれ、自然がとても豊かな五島市で国際ロータリー第2740地区第32回RYLA（青少年指導者養成プログラム）が福江ロータリークラブをホストとして、長崎第9・10グループの全ロータリークラブがコ・ホストクラブとなって、牟田宣昭実行委員長の指導のもとに開催されますことに心からお慶び申し上げます。

私共は、遣唐使や倭寇等歴史的に深いかかわりがあった日本の最西端の島、五島でのRYLAに参加出来ましたことは大変嬉しく思い、楽しみにして、やって参りました。

3月11日、自然の猛威による悲しい出来事。東日本大震災が発生して2ヶ月が過ぎました。復興に向けての動きも伝わって来ていますが、早く通常の暮らしに戻れますことを願っています。これからもロータリーのガバナー会を中心に、日本のロータリーの仲間達がロータリーらしい支援を進めて行くことになります。

原発事故におきましては、予断を許さない状態が続いているが関係者の方々の懸命な努力により収束への道が整い、良い方向へと進んで行くものと信じています。

さて、ロータリーは奉仕の理想を推進し、人類の幸福と世界平和を目指して日々活動努力しておりますが、それを次世代へと繋げて行かなければなりません。

RYLAの目的は、ロータリーの目標を理解し、個人としても地域にとって優秀な人材を育成することにあります。年齢は、14才～18才、並びに19～30才までの地区内の若い人々とロータリアンと一緒に参加するプロジェクトであり、若い人々が指導者として、又、善良な市民としての資質を伸ばすことを目的として行われるものです。

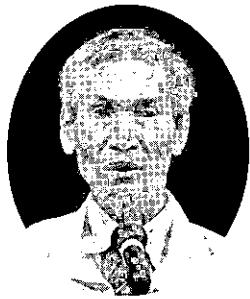
RYLAの特色としては、ロータリアンが運営することになっていますが、青少年との交流を通してロータリアン自信の自己研鑽の場もあります。

又、青少年の人達は、経験豊な多様な職業に携わっているロータリアンと一緒に日頃味わうことが出来ないハイレベルの経験をしながら、人間が人間に接することで心を通い合わせる研修会と云われております。

今回のメインテーマは「自然との関わりの中で語り合いましょう」となっています。

五島の自然を見学し、基調講演を聞いて知識をふやして、人と語り合い、そしてこの五島での経験をもとに益々心を研ぎ、研鑽を積んで将来に於いては自分で考え、自分で判断し、自分で行動して人を動かしていくことが出来る人、世界の未来を担う人になるよう努力されますことを望んでいます。

最後になりましたが、本年度の第32回RYLAが実り多いセミナーとなりますように祈念いたしますと共に、計画、準備、運営にご苦労をしていただきました福江ロータリークラブの皆様、並びに第9・10グループの皆様に感謝申し上げて挨拶と致します。



挨 拶

新世代統括委員会

2009～2010年度地区委員長 岡 部 景 光

前年度新世代統括委員会の委員長でありました、岡部景光でございます。

今年度の委員長であられます北郷雅子さんが、体調を崩して今回は欠席でございますので、私が代役をさせて頂きます。どうぞよろしくお願ひ致します。

今日は五島市での第32回ライラに出席して頂きました皆様、ありがとうございました。自然がいっぱい、歴史がいっぱいの島でのライラを、嬉しく感じています。

昨年の2月頃から今回のライラのお世話を、福江ロータリークラブにお願いの為に高木地区幹事、小川ライラ委員長、北郷新世代統括委員長達と3回程に亘って例会出席致しました。降って湧いたような地区からの申し出に、福江クラブの会員の皆様は大変に苦慮されまして、何回も何回もクラブ協議会をされ、最後にはお受けしていただきました。

福江クラブの方々が苦慮されたのは、長崎市内からは随分と離れている島である為に大勢の人達が出席してくれるのだろうか、天候によっては船便が欠航するので大変な事になる。・・・の2点でした。

しかし、終始受けるのに前向きに検討をされていました。

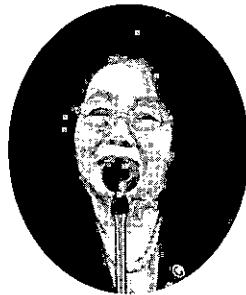
最後は苦渋の決定をしていただきまして、今日の開催となりました。1週間前には例年に無い早い時期での台風1号が進んで来たり、11日までは毎日すごい雨降りが続いていたりして、この時期にはそんな事が無い日を選んで日取りをしていただいているこのライラが、出来るのか否か案じておりました。でも素晴らしい天気になりました、木々の緑が一層に映えております。

福江クラブの会員の皆様には感謝致しております。今日出席の皆様方、この様な事情があつて実現していることをご理解して下さい。

今日は長崎港から3時間のフェリー便でまいりました。1時間半進んだ頃に甲板に上がって周りを見てみましたが、島影や鳥、何も見えず大海原の真っただ中でした。今まで長崎空港から25分の飛行機と、長崎港からの1時間半のジェットフォイル便でしたので早く到着しますから、離れ島との感覚がそう無かったのですが、今日は遠い所だと実感しています。福江クラブ、福江中央クラブの会員の方達は、ロータリークラブの行事がある度に、このような体験をしながら長崎、佐賀へと出席されているのだと見つめ直す機会になりました。

この後のプログラムに「五島市内視察」が予定されています。高原ガバナーの話にありましたように中国に渡る「遣唐使」が、この地を日本最後の地として船出された記念碑が残っていますし、教会も多くあるそうです。皆様も古代に思いを馳せながら、隠れキリストンの生死を賭けた信仰に感嘆しながら、島内の自然を見学して下さい。そしてこのライラが今後の生活や会社、地域での役割をする場合等には、役に立つように望んであります。

代役での挨拶でしたのに、長くなりましてもみませんでした。終わります。



祝　　辞

五島市長 中尾郁子

五島市長の中尾でございます。

皆様、ようこそ五島へお出で下さいました。市民の皆さんと共に心より歓迎申し上げます。

離島で初めての開催と伺っております「第32回 RYLA」、テーマが「自然との関わりの中で語り合いましょう」、五島にぴったりのテーマを設定いただきましたことに感謝申し上げます。

今日は、五島のシンボル鬼岳の椿公園で森の集いが開催されていまして、大勢の子どもたちが参加して、植樹や木工作業を展開しています。この椿公園は昨年、国際優秀椿園に指定されまして、まさに五島の自然の力をいただいた認定がありました。この後、皆様は高浜海岸や大瀬崎灯台、教会を経由して、さんさん富江キャンプ村へ移動される予定になっていますが、海、砂浜、島、鬼岳を遠くに眺める風景は満足いただけるものと思います。

「五島の魅力」「自然との共生」のテーマで活発な意見交換がされると思います。

五島に暮らす私達は、椿をはじめ、五島牛やマグロ、伊勢海老、水いか、ぶり等すべての海の幸、山の幸を自然からいただき生計が成り立っています。今日のように穏やかな海、激しい潮の流れや、人を寄せ付けない怒り狂った海にも対峙します。

この海を渡って大役を果たした遣唐使、その遣唐使船が日本で最後の寄港地としたのが三井楽の柏岬です。旅立つ人をおもてなし、食料や飲料水を積み込んで中国へ向けて船出のお世話をしました。

又、キリスト教弾圧の時代、禁教令の中で信徒は西へ西へと信仰を守れる地を求めて五島へきました。岬の影や山奥の人目のつかない処を祈りの安住の場所としました。島の隠れキリシタン集落が誕生した時代です。

五島の市民は遠い昔から自然と共に存して生活の知恵を生み出しています。今有名になった439万本の椿、その果実から搾油した椿油を原料にした化粧品が6月中には大手化粧品会社から発売されます。その椿は、潮風から畠を守る防風林として長い時代をかけて育てられたものです。

東シナ海から7月になると、マグロの稚魚が回遊してきます。今日、皆様が渡って来られた、五島灘に多くの漁船が出漁してマグロの稚魚を採捕します。これを活用してマグロの養殖が始まりました。

今日のテーマにそった事例がたくさんあります。内容豊かなディスカッションが展開されますことを、ご期待申し上げます。有意義な一日になりますように、ご祈念申し上げます。

国際ロータリー第2740地区の皆様、福江ロータリークラブの皆様の益々のご発展、ご健勝を心からお祈り申し上げまして、お祝いの言葉といたします。本日はおめでとうございました。

A グループディスカッション

● テーマ：自然との関わりの中で語り合いましょう!!

● サブテーマ：五島の魅力について

コーディネーター 中村吉廣（福江RC） 計 23名

平田由紀（唐津東RC・RAC）	小林純一（長崎北RC）
辻あゆみ（長崎東RC・RAC）	下村敬司（佐賀南RC）
中村美貴（福江RC・青少年）	瀬戸伸雄（唐津西RC）
倉田龍一（長崎西RC・青少年）	高原武彦（有田RC）
小島義史（長崎RC・RAC）	竹内一（長崎北RC）
小林敦生（福江中央RC・青少年）	濱口吉治（唐津中央RC）
菅碧玖（長崎中央RC・学生）	濱口順子（唐津中央RC・夫人）
鄭学榮（長崎中央RC・学生）	濱本浩邦（長崎RC）
馬渡礼子（神埼RC・青少年）	松田志津夫（唐津中央RC）
村田悠介（武雄RC・青少年）	松田洋子（唐津中央RC・夫人）
金澤一（佐世保東RC）	吉川茂（東長崎RC）
上戸謙二（長崎北RC）	順不同



リーダー：平田由紀

発表者：中村美貴

記録者：辻あゆみ

私たちが感じた五島の魅力は主に、自然、食べ物、歴史文化、信仰心についてです。

◎ 自然

- ・海、空、星、空気、草花がきれい
- ・高いビルが無く、空気が澄んでいて星空がきれい
- ・都会で疲れた人には、癒しになる
- ・子供たちが自然の中で育つ
- ・大瀬崎灯台も雄大な自然と融合しそばらしい

◎ 食べ物

- ・五島うどん
- ・五島牛
- ・魚
- ・かんころもち
- ・新鮮な米や野菜、農業従事者が半数以上そのため自給自足できる
- ・近所の人たちに、農業の人は米や野菜を、漁業の人は魚をお裾分けするような交流がある

◎ 歴史文化

- ・隠れキリシタンが五島に逃れて来て、他の人たちがあまり来れないような場所で厳しい生活に耐えながら信仰を守った
- ・石田城
- ・バラモン凧
- ・万葉集で詠まれた
- ・遣唐使が水や食料の補給に立ち寄った

◎ 信仰心

- ・チャンココという念佛おどりを青年団が受け継いできた
- ・お墓を常にきれいにして先祖を大切にしている
- ・隠れキリシタンが弾圧に耐えて信仰を守ってきた

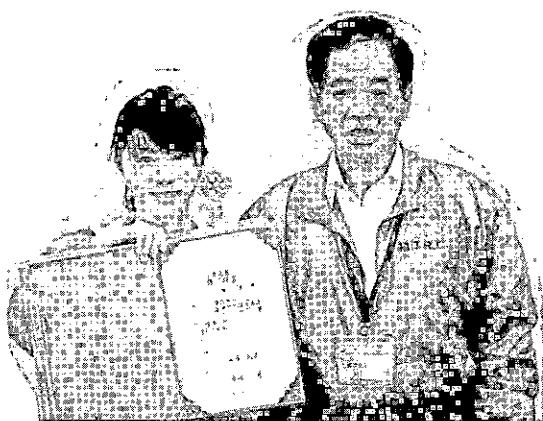
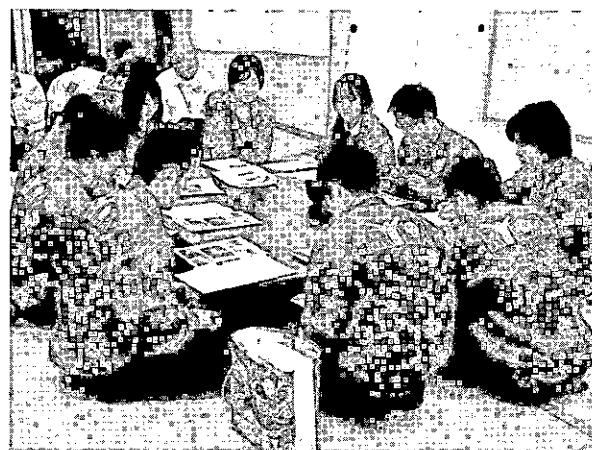
★こんなにたくさんの魅力を観光に活かすにはどうしたら良いか？

観光に活かす

- ・知ってもらう事が大事!! 宣伝不足!!
- ・海のきれいな島といえば沖縄のイメージがあるだろうが、近くてもキレイな海があるのが五島
- ・インターネットで五島の美しい映像を流す
- ・アンテナショップを各地に設け、映像も流す
- ・中高の教育で、隠れキリシタンのこと、五島のことを学ぶ
- ・サンセットクルーズも宣伝する

問題点

- ・交通費が高い
- ・飛行機の時間が不便
- ・観光インフラ不足（コンビニ少ない）
- ・夜お店が開いてない



B グループディスカッション

◎テーマ：自然との関わりの中で語り合いましょう!!

◎サブテーマ：五島の魅力について

コーディネーター 中村陽二（福江RC） 計 24名

林 田 健 正（長崎RC・RAC）	佐 藤 豊（長崎琴海RC）
松 尾 麻紀子（佐世保東RC・RAC）	白 坂 貴之（長崎中央RC）
福 岡 花 菜（唐津東RC・RAC）	杉 原 英 敏（大町RC）
グエン・ティ・ニュン（佐世保南RC・奨学生）	高 城 昭 紀（島原RC）
佐 藤 京 妃（長崎琴海RC・青少年）	田 中 一 広（長崎琴海RC）
二 木 彩 花（福江RC・青少年）	田 中 丸 忠 良（唐津RC）
日 高 友 和（武雄RC・青少年）	友 岡 純 一（長崎琴海RC）
溝 上 大 輔（佐世保中央RC・青少年）	花 田 勝 美（島原RC）
守 山 一 平（長崎西RC・青少年）	福 田 雅 信（有田RC）
山 崎 英 哉（有田RC・青少年）	村 上 一 憲（唐津中央RC）
川 別 孝 順（佐世保南RC）	山 口 圭 一（長崎西RC）
小 林 正 明（神埼RC）	山 口 裕（長崎北東RC）

順不同



リーダー：林 田 健 正

発表者：福 岡 花 菜

記録者：松 尾 麻紀子

- ・海がキレイ（高浜海水浴場は日本の渚100選に選ばれている）
- ・夏は涼しく、冬は暖かいため住みやすい
- ・リゾート開発をすれば海の魅力が伝えられる？

↓でも

環境に悪影響が？？

- ・交通の便をよくする
- ・海の近くに公共施設や商業施設を造ればいいのではないか
 - ↓ デメリット 夏に限定される？ 冬はお客様が減る
夏以外に行ける商業施設を造るか、季節に応じたイベントをする
- ・食べ物・特産品（海産物・農産物）を出してお客様を呼ぶ
五島うどん（店が朝開いてない、店が少ない）・椿油

《魅 力》

- ・海、五島うどん、かんころもち、展望台、魚介類、灯台と海と崖
- ・自然がたくさんある、人が入っていない開発されていない所も良い
- ・高浜海水浴場がキレイだった（サーファーがいて海水浴場にはいい）
- ・椿油、教会の数、日本で一番新しくできたお城
- ・自然がキレイ、潮干狩りもできる

① 自然について

- ・夏は涼しく、冬は暖かい（住みやすい）
- ・海がキレイ（高浜海水浴場 七色に海の色が変わる）
- ・潮干狩り（ハマグリ）ができる
- ・椿→椿油もっと表に出ると良い
- ・サンゴ（アクセサリー）
- ・スキューバダイビングもできる

② 食べ物について

- ・魚介類がおいしい、五島うどん、かんころもち（さつまいも・よもぎ）、五島牛、地酒

③ 施設・その他

- ・灯台（断崖絶壁）、教会、石田城跡、電気自動車（エコ）
- ・遣唐使が入って来た歴史がある

●もう一度五島に行きたいと思うか？

○ 行きたいと思った人

- ・自然がキレイ、行きたい所をピックアップして行きたい、地元で見れないものがある
- ・教会に行きたい、海に入ってみたい、電気自動車も運転したい
- ・悪人の口ヶ地をまわってみたい
- ・椿→玉之浦椿…もっとアピールする、深く追究してみる
- ・五島牛がおいしかった

○ 思わなかった人

- ・地元に海もあり、食べ物もおいしいから五島じゃなくてもよい
- ・もっと手軽に行きたい … 移動時間・交通費

●宿泊施設

- ・ホテルもあるが民宿がいい（安くて食事がおいしい）穴場!! 街もキレイ。

◎ 五島の魅力を引き出すために

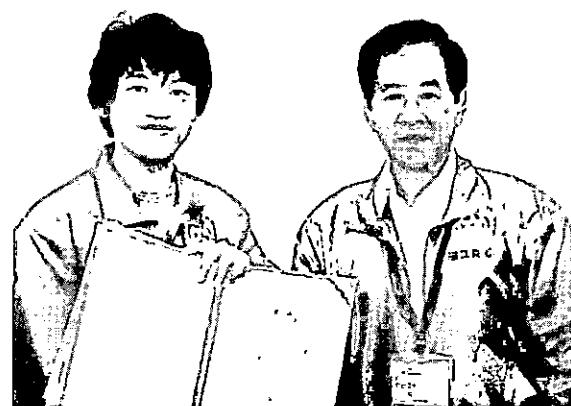
- ・五島出身のアーティストを呼んでライブやイベント（一定期間のイベントがいい）
- ・ディズニーランドみたいな夢やロマンがある所があればいい
- ・灯台に行くロープウェイやトロッコ
- ・本物の椿を氷に閉じ込める（話題になり産業になる）
- ・外国の方もたくさん観光に来てもらって、他国に五島をアピールしてもらう
- ・時間と交通費 < 魅力をUPさせる…アピールする
↓
前よりは安くなった
- ・利便性 … 船の時間

◎ アピールする方法

- ・CMをする、旅番組（TVにアピール）
- ・イベント、食べ物、料理
- ・教会がいっぱいあるので、結婚式

★地元の方がまず質を上げることから始める

★地元の方が他県に話す、アピールする



C グループディスカッション

- ◎テーマ：自然との関わりの中で語り合いましょう!!
- ◎サブテーマ：自然との共生について

コーディネーター 戸田博之（福江RC） 計 25名

大矢雅人（唐津東RC・RAC）	古瀬亨（島原RC）
赤星真由美（長崎東RC・RAC）	坂本慎一郎（唐津東RC）
松永夕加（佐世保RC・RAC）	澤山俊雄（長崎出島RC）
有川真史（福江RC・青少年）	谷川正文（島原RC）
壁総友樹（長崎西RC・青少年）	中島洋三（佐世保南RC）
佐藤頌（長崎西RC・青少年）	平野功二郎（唐津東RC）
朱暁行（長崎中央RC・学生）	深堀正義（長崎出島RC）
瀧川雄介（長崎出島RC・青少年）	北郷雅子（長崎出島RC）
土岐菜夏（長崎南RC・青少年）	松山敏雄（東長崎RC）
前川亜希（長崎中央RC・学生）	森義彦（長崎北東RC）
麻生康友（大村北RC）	安永勝信（長崎西RC）
上野祐太郎（大村北RC）	渡邊修志（長崎西RC）
大久保光展（長崎東RC）	

順不同



リーダー：大矢雅人
発表者：松永夕加
記録者：赤星真由美

①自然との共生とは ②自然と共生できていない具体例 ③人類は自然と共生することができると思うか。の三つを話し合いました。

① 自然との共生とは？

共生とは「自然と人間が同じだけ利益と害を得ること」「自給自足をし、必要な分以外は採らない」「自然と人間ができる限り長く生存していくこと」などがありました。

色々な意見がありましたが、メンバーでスローガンのようにまとめた結果は、「なんでもやりすぎ（採りすぎ、発展しすぎる、便利になりすぎる）はよくない。自然や生き物のことを考えながら生活していくこと」です。

② 自然と共生できていない具体例

埋立地の問題。メンバーの中に中国の方がいて中国の事情も聞いたのですが、中国では人口が多いため、畑を作るため森林を伐採し、そのことが凄く問題になっているそうです。

また、昨今起きたBSE問題。外来種が日本にきて日本古来の生態系を壊しているという問題。

そして今日バスの中でガイドさんから教えてもらった、環境に良いと思い建てた風力発電のプロペラが、野鳥に当ってたくさんの鳥が死んでいることを聞き、それでは共生しているとは言えないのでないかとの意見もありました。

③ 人類は自然と共生することができるか

本当に難しい問題だと思いますが、私たちのメンバーは9人中4人が「共生できる」5人が「共生できない」と答えました。

「できる」と答えた人の意見としては、

「人間は破壊できるのなら、再生もできるのではないか」また、インドやスリランカに行った経験がある人は、「それらの国は過去の日本のように石油に混ぜ物をして、今の日本以上に環境に良くなかったので、共生はできていない。現在の日本のような先進国も共生は出来ていないが、どうしたら出来るかがわかってきてる。ならば、将来的には出来るのではないか。」

また、逆の「できない」と答えた人の中には、

「私は以前なら共生ができると考えていましたが、東日本大震災を見て自然の脅威の前では人は無力だと思い、できないと思う」と答えた人もいました。

まとめに入っていく中で、共生できる、共生できないという選択肢の問題ではなく、人間自身が生

き物なので、これも自然の流れの一部なのではないかという意見もありました。

個人的にはやはり共生するのはとても難しく、出来ないのでないかと思うこともあります、この様にいつもは忘れている自然についてディスカッションをし、自然のことを考えて生活していくことが大事なのではないかと思いました。

福江RCの皆様、この様な貴重なテーマについて考える機会を与えてください、本当にありがとうございました。



D グループディスカッション

◎ テーマ：自然との関わりの中で語り合いましょう!!

◎ サブテーマ：自然との共生について

コーディネーター 田中雄介（福江RC） 計 25名

張 本 将 利（福江RC・青少年）	小 川 信（佐世保南RC）
笠 田 恵（諫早RC・RAC）	川 原 哲也（長崎中央RC）
タン・ジン・ウェン（東長崎RC・留学生）	高 木 義和（島原RC）
川 嶋 早 紀（佐世保RC・RAC）	友 田 清（神崎RC）
川 添 大 樹（唐津東RC・RAC）	西 畑 栄一郎（佐世保東RC）
齋 藤 力 也（長崎西RC・青少年）	畠 中 重徳（福江中央RC）
田 島 誠（唐津RC・青少年）	波 多 野 徹（長崎RC）
中 村 吉 博（長崎出島RC・青少年）	濱 本 好哉（長崎南RC）
原 口 舞（長崎中央RC・学生）	日 高 豊 久（長崎西RC）
山 岡 美（長崎南RC・青少年）	本 田 文 昭（長崎中央RC）
内 山 洋 明（長崎南RC）	山 下 功（武雄RC）
大 場 堂 志（島原RC）	劉 浩 昌（長崎西RC）
岡 村 康 司（長崎南RC）	

順不同



リーダー：張本将利

発表者：タン・ジン・ウェン

記録者：笠田 恵

※「自然と共生している」と感じること

- 五島の風力発電は自然をうまく利用している

- ・台風が多い地域などは、屋根を低くしたりなど、自然災害を避けるため、うまく工夫して生活をしている
- ・電気自動車＝エコ
- ・自然を壊さないこと、汚さないこと
- ・自然を破壊してきた人間が今後どうケアをしていくか
- ・昔は自然から様々な力を借りてきただが、現在では逆になっている？相互のバランスを考えることが大事では

※人間が一番自然を破壊していると思うこと

- ・ゴミが海に流れている現状（海外からのもの）、リサイクルをもっと考えるべき
- ・山を崩して道路を作っているが、本当に必要なものか
- ・食べ物を残す
- ・地震の影響で節電をしているが、現在不便ではないので、今までの電力は本当に必要だったのか？世界中で日本が一番星空が汚いという。電力使用は考えるべき

※これから生きていく中で人間は考え方をどう変えるべきか

- ・自然への思いやり、新しいものを創るのではなく、自然を残し、守ることが大事、先人の知恵は大事である
- ・日本の会社は物を売るために色々な商品を開発しているが、使えるものを買い替える必要はない。日本人は物をもっと大事にすべき

- ・人の「暮らし」を数十年前に戻すのはどうか、教育から見直す
- ・京都には自然をうまく取り入れた町がある、エコシティの考え方
- ・現代の子供たちは何が破壊されているのか、自然が何なのか分からぬ状態。自然とふれあう機会や体験を増やすことが大切では



E グループディスカッション

◎ テーマ：自然との関わりの中で語り合いましょう!!

◎ サブテーマ：生物多様性について

コーディネーター 中山 勝 義（福江RC） 計 24名

山崎 政和（神埼RC・青少年）	田 雜 豪 裕（佐世保中央RC）
佐々木 千絵（唐津東RC・RAC）	多 良 正 治（東長崎RC）
前田 義人（長崎西RC・青少年）	友 永 修 一（東長崎RC）
竹山 枝利（長崎中央RC・学生）	南 部 建（佐世保中央RC）
塚本 道子（唐津西RC・青少年）	新 納 英 明（武雄RC）
中山 大志（神埼RC・青少年）	野 口 清（佐賀RC）
堀部 浩司（佐世保中央RC・青少年）	平 岡 清 宏（武雄RC）
西 正和（長崎東RC・RAC）	松 園 隆（長崎出島RC）
牟田 顕子（福江RC・学生）	水 本 由 幸（長崎西RC）
レー・ティ・トゥエット（佐世保南RC・学生）	溝 上 純一郎（佐世保中央RC）
川上 信幸（長崎東RC）	柳 田 昌 洋（佐世保南RC）
北口 功幸（長崎西RC）	山 口 善 生（東長崎RC）

順不同



リーダー：山崎 政和

発表者：前田 義人

記録者：佐々木 千絵

グループで話し合った「生物多様性」のイメージは、

- ・人間のせいで生態系のバランスが崩れている

- ・人間は生態系のピラミッドの頂点だけど、他の生物に生かされていると思わなければならない

- ・人間も生物の一種なので絶滅しても仕方ない

などです。

キーワードは「生態系のバランス」です。地球上には3000万種と言われる生物が存在しており、それぞれの生物がバランスのとれた自然環境を作り出しています。しかし、今そのバランスが崩壊の危機を迎えています。

そこで、生態系を守る方法を議論しました。

その方法として出た意見は、環境を守る為にまず人間が危機感を持つこと。人間の技術科学でCO₂を出さない動力の開発。また、生態系を守る必要はないという意見もあり、人間や動植物の絶滅はそれもまた自然の摂理として受け止めるという意見です。

最終的にグループとしての意見をまとめる事ができなかったので、私自身の意見を述べさせてもらうと、生態系を守るために必要不可欠なのは我々人間の環境破壊を少しでも止めることです。私自身も含めみなさんも同じだと思いますが、自分一人が環境保全に務めても何も変わりはしないだろうと思うでしょう。一人ひとりの力というものは小さなですが、今現在の悪化した環境を作り上げたのも、我々一人ひとりの些細な環境への甘えのせいだと思います。したがって、一人ひとりが妥協すること

となく、環境保全について真剣に向き合い、些細なことでも何らかの取り組みをする
ことが大事なのだと思います。



F グループディスカッション

◎テーマ：自然との関わりの中で語り合いましょう!!

◎サブテーマ：生物多様性について

コーディネーター 北島博志（福江RC） 計 25名

入 口 博 信	(福江中央RC・青少年)	尾 上 信哉	(長崎中央RC)
杉 永 麻 美	(長崎北RC・RAC)	川 原 強	(長崎RC)
平 田 涼 子	(唐津東RC・RAC)	古 賀 秀 仁	(伊万里西RC)
太 田 桃 子	(唐津西RC・青少年)	田 添 孝 佳	(佐世保南RC)
大 垢 和 貴	(神埼RC・青少年)	辻 幸 徳	(唐津RC)
姜 澤 東	(長崎中央RC・奨学生)	殿 村 育 生	(長崎RC)
立 木 雄 輝	(長崎西RC・青少年)	中 尾 嘉 宏	(佐賀北RC)
西 山 尚 吾	(佐世保東RC・RAC)	中 村 重 敏	(長崎RC)
光 武 修 太	(有田RC・青少年)	馬 場 政 徳	(長崎西RC)
上 原 高 德	(東長崎RC)	藤 吉 洋 次	(神埼RC)
岡 部 景 光	(有田RC)	御 手 洗 富 章	(福江中央RC)
岡 村 保 彦	(東長崎RC)	森 真 敏	(福江中央RC)
小 川 芳 寛	(佐世保RC)		順不同



リーダー：入口博信

発表者：平田涼子

記録者：杉永麻美

◎ 生物多様性とは

多くの生物が(人間含め)共存する為に、形や数など様々なものを変えながらバランスをとっている。

◎ 最近なぜ問題にされている？

人間が原因で保たれている生物の多様性が壊されている。様々な環境問題。

例）食物連鎖 人間が木を切りすぎて地球温暖化

自然を破壊して、生物の住み家を奪い、全滅させる

今まで地球になかった有害なもの（ダイオキシンなど）を作り、生き物の生態を壊している。

などなど、人間が手を入れたことによって今までのバランスを崩している。

◎ 生物多様は私達の地球を守っていくために大切なものの。

破壊している原因を作っている人間が、地球の生物と共に存していく為には何が必要か？

先進国が後進国に迷惑をかけている

先進国が後進国の木を伐採し、無駄使い

→山を裸にしている

先進国が後進国の食材を食べたいだけ捕る

→全滅させる。原地では食べられない

先進国は原発が危険とわかっていても、オイルが渇くから原発を使っている

→後進国は使ってないのに被害

結局、先進国は自分達の贅沢、利益のことしか考えていない。

◎ 最近エコと騒がれ始めたが、まだ完璧に浸透していない。

一人ひとりがまず心がけることから！

最後にみんなに宣言した。

・排ガスがでない電気レンタカーを進める

・節約できるものはする

（小さなことから。電気はこまめに消す、マイバックを使う）

・ゴミや残飯を出さない

→無駄なものは使わない

- ・環境への取り組みに力を入れているドイツなどに目を向け、参考にする
- ・乗り物も考えて使用する

大切な地球を守る為に、先進国である私達は更に先のことを見なければいけない。地球のみんなが一人ずつ節約したら、莫大な節約になる。やはり一人ひとりの心がけ。
みなさんも素敵な五島の自然にふれ、大切さを感じた今日から!!



RYLAに参加して

五島の良さに触れる事が出来て、とても良い1泊2日だったと思うが、それ故に駆け足でのプログラム消化が残念に感じられた。五島には機会があれば、また、行きたいと思う。

五島はとても落ち着くパラダイスです。これからも自然を大切に原形をとどめて下さい。お願ひ致します。あと、福江のボランティアおよびロータリーの方々は温厚な性格で、私自身心からいやされました。どうして、みんなにいい人ばかりなのだろうと思うくらい、五島の土地柄が出ており、好きになりました。船代だけが欠点です……。本当に短い間、ありがとうございました！（A・S）

今回のRYLAへの参加は初めてでしたが、実際参加をしてみて、同世代の人達と自然の中で関わり合い、またディスカッションをしたりと、非常に貴重な体験をさせて頂きました。限られた時間の中での観察地、食事、小学生による倭寇太鼓など、どれも工夫をこらしたものでとても満足のいくものでした。

私は五島が地元ですが、改めて五島の魅力を再認識させられました。こういった機会を与えて下さった、ロータリークラブの関係者の皆様や野口理事長、本当にありがとうございました。（小林敦生）

14日、15日では高浜海水浴場や、大瀬崎の灯台の景色を見て感動しましたし、なんと言っても五島の大自然を満喫できてよかったです。キャンプ場では、焼肉も本当に美味しい満足いたしました。プライベートでも機会がありましたら、また訪れようと思います。（小島義史）

日本では少子高齢化が進んでいるので、お年寄りがだんだん増えています。それで、お年寄り向けの施設をはじめ、交通の利便性を少し改善できたら良いと思います。

また、多くのお客さんが五島に来てもらうために、年に4回ぐらい（季節ごとに）イベントを開催したらいいと思います。

この2日間、本当に大変お世話になりました。本当にありがとうございました。（グエン・ティ・ニュン）

この度は、私達青少年の為にこのような素晴らしい企画をしていただき、ありがとうございました。福江RCの皆様、お手伝いいただいた島の方達の手厚いおもてなしを感じ、心から楽しみながら自然環境について学ぶことができました。

五島というすばらしい大自然を見た後に、自然環境についてディスカッションをしたので、私達青少年は、より一層真剣に自分達の意見を出し合えたように思えます。五島から帰って、自分の身の回りができる自然環境に優しいことを考えながら、行動するようになりました。五島での時間がとても楽しくあつという間の2日間でした。また、友達と遊びに行きたいと思います。ありがとうございました。（平田涼子）

また、このような機会があったら参加したいと思いました。（大坪和貴）

RYLAに参加して

今回、初めて参加させてもらいました。五島はとても自然が豊かで、食べ物もとても美味しいので、とても魅力ある所でした。

バスでの観察は、五島の観光名所を周り、全てが魅力ある場所で、とても感動しました。夕食のバーベキューは時間が少し短かったですが、五島の食べ物を美味しく頂けました。

自分は磯釣りが趣味で何度か来たことがあります、とても魚影が濃い所で、とてもすばらしい場所だと思います。次回は、観光で訪れたいと思います。

先日、五島で開催されたRYLAセミナーに私は参加しました。この様な素晴らしいセミナーに私は初めて参加しました。

今回セミナーのテーマは、自然との関わりの中で語り合いましょうと言うテーマでした。

私はFグループのメンバーとして、「生物多様性」のサブテーマについて、日本の友達と一緒にディスカッションしました。ディスカッションをするとき、私の日本語はあまり上手ではありませんでしたが、ロータリアンの皆様と日本の青少年の皆さんから、沢山お世話をもらいました。ありがとうございました。

今、人間は人口数が多く、食糧が少ないこと、水資源の枯渇、自然環境を壊すこと、生き物種の絶滅など、様々な危機問題と直面しています。この原因は何ですか？たぶん、人類の科学技術などの発達により、人類が大きな力を獲得し、人類の活動の急拡大に伴い多くの野生動物と植物が生息地を奪われ、自然環境を壊し、人間とそれぞれの生き物が相互に関係し合うバランスが壊されたからだと思います。今、人類が直面する危機問題をどうやって解決しますか？私はまず自分から節約ができるることは、必ず節約します。生物多様性を守ることができれば、必ず守ります。

例えば、私の家では不要な照明をつけ放しにしない。買い物をするとき、自分のバッグを持って行く。不要なレジ袋は使わない。紙と水の使用を減らす。再生利用や再使用を実践する。山や川に廃棄物を不法投棄しない。高山植物を摘み取らない。植樹や植林活動に参加することです。

今回のセミナーで私は、人と自然共生、生物多様性を守ることなど、色々なことが勉強になりました。セミナーで私を一番感動させたことは、ディスカッションをする時、日本のロータリアンの長者が日本の青少年一代に、自分の経験から色々なことを丁寧に教えます。これはとても素晴らしいと思います。

私は中国からの留学生です。自分の国ではこの様なセミナーが少ないです。経験と経歴を持っている長者を集めて、若い人と一緒に美しい大自然を守ることについてディスカッションして、自分の経験と経歴を若い人に教えることも少ないです。日本のロータリアンの皆様、この様な社会活動はとてもすばらしいと思います。

将来については日本だけじゃなくて、もし、チャンスがあれば世界中の沢山の国と一緒に、この「自然との関わりの中で語り合いましょう」と言うセミナーをするのは、もっと素晴らしいと思います。

宜しくお願い致します。（姜 澤東 ジャン・ズオ・トン）

RYLAに参加して

今までにないRYLAだったかと思います。自然の中で、自然を生かしたテーマと内容のもと楽しむことができました。

しかし、費用の問題もあったかと思いますが、市内視察のバスはギュウギュウで横には知らない人、右を見て、左を見て案内をしていただいても、なかなか見れるものではなかったです。補助席の方々も3時間、あの道中は辛かったんではないでしょうか。

それと、段取りが悪く次に何をするのか、何時までにどこに集合するのか…とアナウンスがマイチ行き届いてなくて、夕食やお風呂の時間が大幅に減ったこと。

ロータリーの方々が結局座って待っているので、青少年やアクトの人達が調理をして持って行く…ある程度ロータリアンの方々が落ちついて、いざ食べようとした頃には食事時間終わり…全く食べれませんでした。バーベキューはとても楽しみにしていたので非常に残念です。

あと、自然をテーマにしているにも関わらず、やたら多く残っている食材。たくさん残っていて、「ん~、どうなんだろう…」と正直思いました。

お風呂の時間もとても短くて、髪もろくに乾かせず、部屋に戻っても知らない人が相部屋で、しかも寝てるから部屋でも乾かせない。帰って来たのが23:00なので仕方ないとは思います。疲れてたと思います。でも、力ゼをひきました。お風呂も、もう少し段取り良く、女の子は少なかったので早い時間から案内できなかつたんでしょうか？

ディスカッションや開催地の環境はとても充実していたので、その点が非常に残念に思いました。

今回、五島に初めて行き、改めて自然の素晴らしさに触れる事ができました。普段の生活の中でその様な事は、なかなか出来ません。先の東日本大震災で自然の恐怖を知りました。いかに自然と向き合っていくか。そう考えた所に、私の班のテーマ「自然との共生」を考える事が出来、大変貴重な場であったと思います。灯台はとても神秘的で、いやされるというか、何かエネルギーになるような不思議な感覚にとらわれました。また、ご飯は美味しく、サザエは普段食べる事がない、大変貴重な物で感動致しました。自然は私達に感動をくれると思いました。

今回、参加させていただき、大変感謝しております。なかなか五島に行く機会がない為、日頃の疲れが取れ、心も浄化されました。また、他の職種の方となかなか触れる機会がないので、そのような方々と話が出来、これから社会人生活に活かしていくことができると思います。今後のロータリークラブの発展を願い、感想を終わらせていただきます。

大変、有難うございました。(堀部浩司)

私は、この行事に初めて行きました。最初はどういう行事だろうと不安でしたけど、人との交流や五島市内の視察、グループディスカッション、いろんなことをして、RYLAのすばらしさを学びました。

(溝上大輔)

RYLAに参加して

1泊2日のRYLAに参加させていただき、本当にありがとうございました。

短時間で美しい自然に接することができ、様々なことが勉強できました。特に、グループディスカッションについて、今私たちの生活の中で自分の意見を述べるのは、あまりないチャンスです。今回のRYLAを利用して、自分の考えが言えるのは大変うれしかったです。

しかしながら、各グループの発表の終了に際し、ロータリーの方はその発表に対して、ご意見があれば、まだ不足なところも勉強できると思います。確かに、私たち各自で反省しながら、そんなところを見つけたほうがよりいいことです。

今回のRYLAのおかげで、今まで知らなかったことが分かるようになりました。本当にありがとうございました。(レー・ティ・トゥエット)

今回は、大変お世話になりました。「五島」を知ることができます。今度はぜひ、個人的に旅行したいと考えております。(林田健正)

五島に初めて行きましたが、この2日間で五島の魅力をたくさん知ることができました。

夜のグループディスカッションでは、知らない人達と一つのテーマについて話し合い、まとめていくという、普段では経験することのできないことをさせて頂き、大変、有意義な時間を過ごしました。

これも、ひとえに多くの方々が協力して下さって感謝しております。ありがとうございました。

自然豊かな五島の魅力を、周りに広めてゆきたいと思います。プライベートでも海へ遊びに行きたいです。素敵な時間を、ありがとうございました!!

五島の自然にもっと触れたかった。鹿も見てみたいと思ったけれど、叶わなかった。船代が伊王島並に安かったらしょっちゅう利用する。(本気で!!)

五島の魅力を限られた行程の中で伝えるのは相当難しいことだと思いますが、観察地や食事、倭寇太鼓など工夫をこらしたものが多く、地元出身ではありますが、改めて五島の良さを再認識させられました。

豊かな自然と触れ合いながら、貴重な体験がたくさんできました。五島で2日間しか過ごさなかったですが、五島のキレイな所、食べ物の美味しさ、地元ロータリアンの方々の親切を感じて感動しました。私はまた五島に行きたいと思っています。

参加してみて印象深かったのは、参加者との交流の中で色々な話が出来、各地域の名産、自分の考えと違う事など聞け、仲良くなれた事です。短い期間でしたが、お世話になりました。ありがとうございました。

RYLAに参加して

全てに大満足でした。無理矢理改善すべき点をみつけるとしたら…夕食時間が短かったので、おいしい物を全て食べれませんでした。

バスによる五島市内視察の時間は素晴らしかった。短時間で五島の美しい自然に接して、ロータリーの方のクイズを通して、より五島のことを知れました。

グループディスカッションを通して、日本人が素晴らしいと思ったがそうでもなかった。それは、あまり自分の意見を述べないことです。

グループディスカッションの内容があまりにも抽象的すぎた。ディスカッションの進め方に困った。山歩き、ウォーキング等、バスを使わぬ方がしっかり自然を体感できると思う。港から富江までをウォーキングしても良かったのでは？

とても素晴らしい自然を味わう事が出来、とても有意義なものになりました。有難うございました。



RYLA講評

第9グループガバナー補佐 渡 邊 修 志

只今ご紹介頂きました、第9グループガバナー補佐の渡邊でございます。RYLAに参加された皆様方、大変お疲れになつたでしょう。

「自然との関わりの中で語り合いましょう!!」のメインテーマのもとに、福江RCをホストとして開催された「第32回 RYLA」は、福江文化会館での開講式を皮切りに始められました。この両日、主催された福江RCの皆様、コ・ホストの福江中央RCの皆様、そしてこの度参加された皆様方のご精進のお陰で晴天に恵まれました。そして、献身的な御尽力を頂いた福江RCの有川会長、牟田RYLA実行委員長を始めとして、会員皆様方による準備万端によってよい成果が得られました。大変ご苦労様でした。また、お疲れ様でした。

開講式終了後、グループ別に分かれ、3台のバスに分乗して五島の自然観光に出かけました。特に高浜海水浴場のきれいな砂浜と青い海、断崖絶壁から見下ろす大瀬崎灯台の景観の素晴らしさに感動され、その映像が瞳の中に焼き付けられたものと思います。さんさん富江キャンプ村までのバスツアーではありましたか、お楽しみ頂けたと思います。

キャンプ村での夕食は、新鮮な魚介類と五島牛のバーベキューでした。大いに堪能されたと思いますが、一寸時間が足りなかつたようですね。

夕食後は研修センターでの基調講演で始まり、「五島の魅力について」「自然との共生について」「生物多様性について」の三つのサブテーマのもと、グループディスカッションが行われました。各グループごとにロータリアンによるアドバイザーがつき、グループの中で選ばれたチーフの司会進行によってディスカッションが進められ、熱心な討議がなされていました。日常生活ではあまり認識されないテーマでとまどいもあったようですが、各人からの発言が出るようになって、ディスカッションが盛り上がりつて来たように思われました。発表の取りまとめをして、本日の発表者となられた方は、昨夜眠れなかつたのではないかでしょうか。それでも各グループそれぞれ立派にまとめ上げられ、発表して頂きました。

地球即ち自然との共存共榮は反面難しい処もあります。人類は地球を必要としているが、地球環境を破壊し続ける人間を、地球は必要としなくなるだろうと言われています。それでも人間は食物連鎖の頂点に君臨して、地球にしがみついているところです。真剣に考える必要があるのではないかでしょうか。その点この度の研修では、自然即ち地球環境を考え、見直すきっかけになったのではないかと思います。

またこの研修によって、五島の文化を少しは認識されたことだと思いますが、まだまだ五島には素晴らしい自然がありますし、五島の教会群を始め、史跡にまつわる文化面も沢山見るところがあり、再度五島を訪れて探勝されては如何ですか。

最後に、この度RYLAに参加された皆様、またお世話を頂いた皆様方、大変お疲れ様でした。立派な成果のあるRYLAでした。皆様方の御健勝、御多幸をお祈り致しまして、講評とさせて頂きます。



閉講の言葉

次年度RYLA地区委員長 中島洋三

第32回ライラ参加の皆様、次期ライラ委員長の佐世保南ロータリークラブ所属の中島洋三です。

今回のライラは、「自然との関わりの中で語り合いましょう!!」をメインテーマに「五島の魅力について」、「自然との共生について」、「生物多様性について」のサブテーマのもと開催されました。

1日目の午後、バスに乗り五島市内を視察。五島の自然の豊かさに改めて感動しました。視察後は、さんさん富江キャンプ村海岸でのバーベキューの夕食。心のこもったおもてなしでした。夕食後は基調講演・グループディスカッションと続き、活発な討論の後、翌日の閉講式での発表と充実した2日間でした。

視察個所を基調講演で確認し、それらをもとにグループディスカッションと大きな流れ中でメインテーマを実行できたライラだったと思います。

ライラの目的である「スキルと人格を養いながら、奉仕、高い道徳的基準、平和といったロータリーの価値観を学ぶ機会を提供すること」を、青少年とロータリアンのコミュニケーションを通じて実現できたことだと思います。

ホストクラブの福江ロータリークラブの会員の皆様をはじめ、関係各位のご苦労は大変だったと思います。深く感謝申し上げます。

次回は武雄ロータリークラブがホストです。今回初めて参加された方、今まで何度も参加された方も是非次回も参加されるようお願いします。

以上簡単ですが、閉講の言葉といたします。



『第32回 RYLA』開催にあたって

実行委員長 牟田宣昭

1年有余に亘り、入念に準備してきました『第32回・ロータリー青少年指導者養成プログラム(RYLA)』。幸いにも、この時期としては稀に見る好天に恵まれ、大過なく実施することができました。何よりもまず、遠路はるばるご参加いただきました皆様に、心からお礼申し上げます。

今回は、「貪らず、使いつくさず、共に分かち合い、そして、若い方々のご意見を、率直に、積極的に受け止めよう。」ということを基本として、計画・実施いたしました。

その為、運営面においては、窮屈、不便な状況も多々ありましたが、敢えて、私たちが現在直面している課題を設定し、青少年の方々の自由な発想と、意見交換の場をめざしました。

まことに難解な課題でしたが、青少年の方々が臆することなく、積極的に協議される様子を拝見し、ほっとするとともに、大変心強く思いました。

『RYLA』につきましては、ほとんど予備知識がなく、さらには、交通機関や宿泊施設、基本資料、会員数減少等々、様々な制約のなか、ほとんどが手作り、まさにゼロからのスタートでした。

準備のための会合は、数10回におよび、当日も1人2役、3役の運営で、何かとご不便をおかけしたことと思いますが、事情をご覧賜り、ご参加いただいた皆様から、ありがたくも、賞賛と感謝のお言葉を頂戴いたしました。

なかでも、青少年の方々から、「参加してよかったです。」「楽しかった。」「機会があれば、また、RYLAに参加したいと思います。」との声を多数いただき、感激いたしました。

申し遅れましたが、野口 清パストガバナー、高城昭紀パストガバナーおよび高原武彦ガバナーはじめ地区役員の方々、コ・ホストクラブ各位はもとより、特に、こころよくご助力をいただきました会員ご夫人、そして外部からご協力をいただきました皆さま方に、あらためて感謝申し上げ、実行委員会報告といたします。

ありがとうございました。

第32回RYLA 登録者名簿

グループ	クラブ名	ロータリアン・RC夫人	R A C	学生・一般	合計
第1	佐賀野口清				1
	小城				0
	牛津				0
	多久				0
	佐賀大和				0
第2	佐賀西				0
	佐賀北中尾嘉宏				1
	佐賀南下村敬司				1
	神埼	小林正明		大坪和貴	
		友田清		中山大志	
		藤吉洋次		馬渡礼子	
				山崎政和	
	佐賀空港				0
第3	有田	岡部景光	高原武彦		光武修太
		酒井田正宏	福田雅信		山崎英哉
	武雄	新納英明	山下功		日高友和
		平岡清宏			村田悠介
	鹿島				0
	嬉野				0
	大町	杉原英敏			1
	白石				0
	太良				0
第4	唐津	田中丸忠良		田島誠	
		辻幸徳		無記名	
	伊万里				0
	唐津東	坂本慎一郎	大矢雅人		
		平野功二郎	川添大樹		
			佐々木千絵		
			平田由紀		
			平田涼子		
			福岡花菜		

グループ	クラブ名	ロータリアン・RC夫人		R A C	学生・一般	合計
第4	唐津西	瀬戸伸雄			太田桃子 塚本道子	3
	伊万里西	古賀秀仁				1
		濱口吉治	濱口順子(夫人)			
	唐津中央	松田志津夫	松田洋子(夫人)			5
		村上一憲				
第5	佐世保	小川芳寛		川嶋早紀		3
				松永夕加		
	平戸					0
	佐世保西					0
	北松浦					0
第6	佐世保南	小川信	中島洋三		ゲン・ティ・ニュン	
		川渕孝順	柳田昌洋		レー・ティ・トゥエット	7
		田添孝佳				
	佐世保東	金澤一		西山尚吾		4
		西畠栄一郎		松尾麻紀子		
	佐世保北					0
	佐世保中央	田雜豪裕	溝上純一郎		堀部浩司	5
		南部建			溝上大輔	
	佐世保東南	池田正喜	松尾泰直			3
		古川幸造				
	ハウステンボス 佐世保					0
第7	大村					0
	島原	安藤竜順	高田一始			
		石橋一朝	高原俊典			
		石本雄康	田実貞昭			
		岩切正教	谷川正文			
		魚住明	中村正年			
		内島範喜	中村光利			
	大場堂志	花田勝美				

グループ	クラブ名	ロータリアン・RC夫人		R	A	C	学生・一般	合計
第7	島原	大場 正文	林田 幸人					36
		沖野 義則	星野 親房					
		小田 良宗	松崎 正行					
		喜多 清基	松本 裕介					
		古賀 修	宮崎 正光					
		古瀬 亨	村中 順子					
		木場 英之	本村 博信					
		坂本 周一郎	森山 一秀					
		高城 昭紀	山本 威篤					
		高木 宏敏	山本 悅一郎					
	雲仙							0
	大村 北	麻生 康友	上野 祐太郎					2
	島原 南							0
	大村 東							0
第8	諫早				笹田 恵			1
	諫早 北							0
	諫早 西							0
	諫早 多良見							0
	諫早 南							0
第9	長崎	川原 強	波多野 徹	小島 義史				7
		殿村 育生	濱本 浩邦	林田 健正				
		中村 重敏						
	福江				有川 真史			38
					中村 美貴			
					二木 彩花			
					張本 将利			
					牟田 顯子			
	長崎 北 東	森 義彦	山口 裕					2
	福江 中央	畠中 重徳	森 真敏		入口 博信			5
		御手洗 富章			小林 敦生			

グループ	クラブ名	ロー・タリアン・RC夫人		R A C	学生・一般	合計
第9	長崎西	北口功幸	渡邊修志		壁総友樹	15
		馬場政徳			倉田龍一	
		日高豊久			齋藤力也	
		水本由幸			佐藤頌	
		安永勝信			立木雄輝	
		山口圭一			前田義人	
		劉済昌			守山一平	
長崎琴海	佐藤豊	友岡純一			佐藤京妃	4
	田中一広					
第10	長崎北	上戸謙二	竹内一	杉永麻美		4
		小林純一				
	長崎南	内山洋明	濱本好哉		土岐菜夏	5
		岡村康司			山岡葵	
	長崎東	大久保光展		赤星真由美		5
		川上信幸		辻あゆみ		
				西正和		
長崎崎	上原高徳	松山敏雄			タン・ジン・ウェン	8
	岡村保彦	山口善生				
	多良正治	吉川茂				
	友永修一					
	尾上信哉				姜澤東	
	川原哲也				朱曉行	
	白坂貴之				菅碧玖	
長崎中央	本田文昭				竹山枝利	12
					鄭學榮	
					原口舞	
					平山春香	
					前川亜希	
長崎出島	澤山俊雄	北郷雅子			瀧川雄介	6
	深堀正義	松園隆			中村吉博	
登録者		154名		17名	44名	215名
欠席者		44名		1名	2名	47名

登録者 215名 出席者 168名 欠席者 47名

※未登録出席：中島 登志雄（唐津西）

福江ロータリークラブ（全会員33名登録）

才 津 金 人	吉 田 泰 之	中 村 吉 廣
才 津 圭 策	北 島 博 志	中 村 博 義
嵩 嵩 則 雄	有 川 一 男	中 村 陽 二
才 津 為 夫	中 村 栄 治	才 津 寛 光
山 本 鶴 男	戸 田 博 之	松 郁 雄
才 津 祐 造	中 山 勝 義	崎 洋 幸
牟 田 宣 昭	向 原 広 勝	平 野 晴 吉
佐 々 野 邦 久	橋 本 雅 男	椎 葉 久 吉
平 村 和 男	張 本 民 雄	田 中 雄 介
清 瀧 誠 司	山 下 実 治	松 本 正 一
谷 川 和 啓	田 中 講 治	橋 真 自

登録者以外関係者

◇退会会員

岩見 英憲 白仁田 博昭 小島 一尊 片山 修男(故人)

◇福江RC夫人（食事準備等）

谷川 一恵 北島 順子 中村 徳美 張本 牧代
吉田 悅子 有川 シマ子 戸田 真理 中村 タマエ

◇その他

セミナー基調講演講師 五島市観光交流課長 古川 八寿男様
病院待機医師 福江中央ロータリークラブ 浦繁郎様
看護師 永山雅夫様
応援スタッフ 久保明日美様
福江RC事務局 野口豊子

RI第2740地区 RYLAの歩み

	開催年度	ホストクラブ	会場
第1回	国際ロータリー創立75周年記念 1979~'80年度 ('80年5月)	佐世保	長崎・親和の森
第2回	1980~'81年度 ('81年3月)	門司西・小倉東	福岡・英彦山・青少年の家
第3回	1981~'82年度 ('82年5月)	有田	佐賀県黒髪少年自然の家
第4回	1982~'83年度 ('83年3月)	諫早	国立諫早少年自然の家
第5回	1983~'84年度 ('84年4月)	鳥栖	基山町・瀧光徳寺
第6回	1984~'85年度 ('85年2月)	雲仙	雲仙・青雲荘
第7回	1985~'86年度 ('86年2月)	佐賀北	大和町・龍登園
第8回	1986~'87年度 ('87年3月)	長崎東	国立諫早少年自然の家
第9回	1987~'88年度 ('87年11月)	佐世保東	長崎県立佐世保青年の天地
第10回	1988~'89年度 ('89年2月)	唐津東	厚生年金休暇センター
第11回	1989~'90年度 ('90年2月)	長崎南	国立諫早少年自然の家
第12回	1990~'91年度 ('91年2月)	佐賀西	佐賀県立北山少年自然の家
第13回	1991~'92年度 ('91年11月)	大村	千々石少年自然の家
第14回	1992~'93年度 ('93年5月)	佐世保北	長崎県立佐世保青年の天地
第15回	1993~'94年度 ('94年2月)	唐津	佐賀県北山少年自然の家
第16回	1994~'95年度 ('95年3月)	長崎西	国立諫早少年自然の家
第17回	1995~'96年度 ('96年3月)	有田	佐賀県黒髪少年自然の家
第18回	1996~'97年度 ('97年3月)	佐賀	佐賀県北山少年自然の家
第19回	1997~'98年度 ('98年3月)	島原	島原・九十九ホテル
第20回	1998~'99年度 ('99年3月)	佐世保中央	長崎県立佐世保青年の天地
第21回	1999~'00年度 ('00年3月)	唐津西	佐賀県波戸岬少年自然の家
第22回	2000~'01年度 ('01年3月)	長崎中央	長崎・式見ハイツ
第23回	2001~'02年度 ('02年3月)	鹿島	佐賀県黒髪少年自然の家
第24回	2002~'03年度 ('03年3月)	佐賀大和	佐賀県北山少年自然の家
第25回	2003~'04年度 ('04年5月)	諫早南	国立諫早少年自然の家
第26回	2004~'05年度 ('05年5月)	北松浦	佐世保・九十九島観光ホテル
第27回	2005~'06年度 ('06年4月)	東長崎	長崎原爆資料館
第28回	2006~'07年度 ('07年4月)	唐津中央	唐津ロイヤルホテル
第29回	2007~'08年度 ('08年4月)	小城	佐賀県黒髪少年自然の家
第30回	2008~'09年度 ('09年4月)	大村北	大村市野岳湖周辺及び長崎空港 観光ホテル・大村商工会議所
第31回	2009~'10年度 ('09年11月)	佐世保南	長崎県立佐世保青少年の天地
第32回	2010~'11年度 ('11年5月)	福江	福江文化会館・さんさん富江キャンプ村

2010~2011年度 国際ロータリー第2740地区

第32回 RYLA実行委員会組織図

ガバナー 高原武彦(有田RC)
新世代統括委員長 北郷雅子(長崎出島RC)
RYLA地区委員長 小川信(佐世保南RC)
RYLA地区委員 下村敬司(佐賀南RC)
RYLA地区委員 辻幸徳(唐津RC)
RYLA地区委員 山口圭一(長崎西RC)
RAC地区委員長 藤岡良規(長崎RC)
IAC地区委員長 草野幸子(長崎出島RC)

RYLA実行委員長
牟田宣昭(福江RC)

第9グループガバナー補佐 渡邊修志(長崎西RC)
第10グループガバナー補佐 澤山俊雄(長崎出島RC)
ホストクラブ(福江RC)会長 有川一男
(福江RC)幹事 中村陽二
コ・ホストクラブ
第9グループ 福江中央RC・長崎RC・長崎北東RC
長崎西RC・長崎琴海RC
第10グループ 長崎北RC・長崎南RC・長崎東RC
東長崎RC・長崎中央RC・長崎出島RC

総務担当 実行副委員長 谷川和啓(福江RC)

行事担当 実行副委員長 北島博志(福江RC)

総務委員会

◎ 張本民雄
○ 佐々野邦久
才津祐造
有川一男
松本正一

登録委員会

◎ 橋本雅男
○ 平野幸晴
才津為夫
山本鶴男

記録委員会

◎ 才津光寛
○ 向原広勝
才津圭策
清瀧誠司

運営委員会

◎ 中山勝義
○ 中村吉廣
才津金人
戸田博之
中村陽二
椎葉久吉
田中雄介
橋眞自

会場委員会

◎ 中村栄治
○ 平村和男
吉田泰之
田中講治
植松郁雄
釜崎洋

救護委員会

◎ 山下実
○ 嵩則雄
中村博義

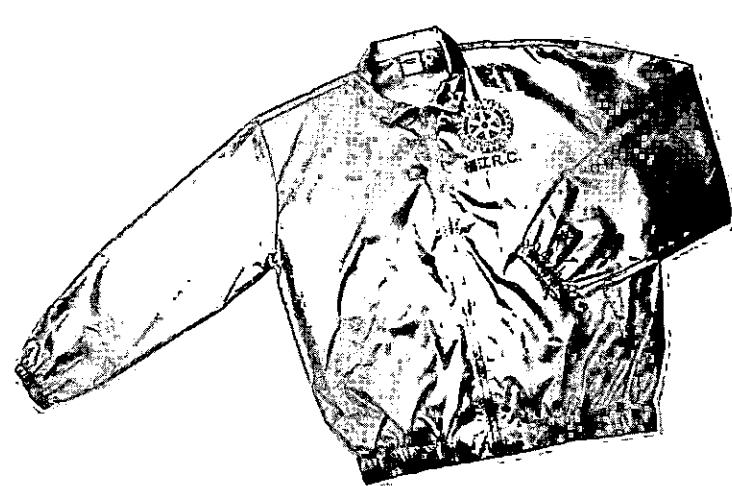
事務局 野口豊子

スタッフ 久保明日美

退会会員 岩見英憲・白仁田博昭

小島一尊・片山修男(故人)

◎印は委員長 ○印は副委員長

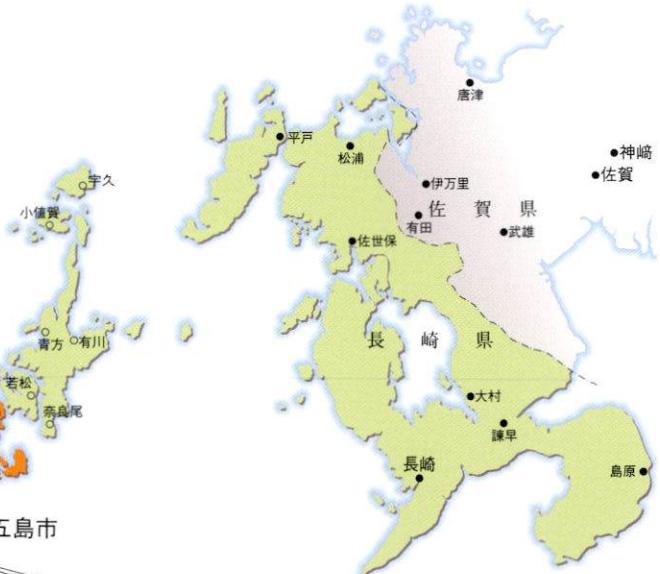


第32回 RYLA記録誌

発行／福江ロータリークラブ
RYLA記録委員会

事務局／〒853-0005 長崎県五島市末広町8-4
福江商工会議所内
TEL (0959) 72-3108
FAX (0959) 74-1588

発行日／平成23年8月5日



2010~2011年度国際ロータリー第2740地区
第32回 ロータリー青少年指導者養成プログラム記録誌